

「輝きの芸術家」中村元風が、ながの東急百貨店にて個展開催

奇跡の輝き なかむら がんぷう 中村 元風 展

現代美術家であり科学者である、中村元風（がんぷう）。石川県に生まれ、同地で古九谷の色絵に影響を受ける中で、釉薬（うわぐすり）ならではの「輝き」に大きな可能性を見出します。科学者の立場から鉱物・金属を研究し、それらの組み合わせや化学反応により、歴史上不可能とされていた色や輝きを生み出す素材（釉薬）を発明しました。7千年以上に及ぶ釉薬の歴史上、五彩と呼ばれる基本の5色（赤、黄、緑、紺青、紫）のうち、赤だけは透明感や光沢がなく、くすんだ色調が常識とされ、ガラス質で鮮やかな赤を作り出すことは不可能とされてきました。科学者である中村元風は釉薬研究を科学的に見直し、研究開始から26年の歳月が経過した2011年、世界初の輝きある深紅の焼成（しょうせい）に成功します。完成当日は奇しくも2011年3月11日の朝。直後に発生した東日本大震災を受け、日本に希望をもたらす赤となれという思いから「希赤（きせき）」と命名します。この世界初の赤「希赤」を用いて、アート（セラミック作品）約80点を展示販売します。※会期初日（4月18日）より21日まで作家来場予定です。



きせき こうき
希赤 光輝 34.8×34.8×29.8cm

- 概要 タイトル：奇跡の輝き 中村元風展
会 期：4月18日（木）～23日（火）
会 場：本館5階催事場（入場無料）
販売商品：約80点を展示販売
※4月18日（木）～21日（日）まで作家来場予定

■中村元風プロフィール：（なかむら かんぷう）

- 1955 年 石川県に生まれる。
1981 年 金沢大学大学院理学研究科生物学専攻を修了。
1986 年 光と色の研究を開始する。
1991 年 初個展を開催（東京）。
1995 年 日本工芸会正会員に推挙。
2004 年 景德鎮国際陶瓷博覧会に招待出品。
以後連続出展（2016 年まで）。
2010 年 景德鎮（於 陶瓷学院）にて個展開催。日本人初。



- 2011 年 ウェスティンホテル東京 日本料理「舞」にて花と器と宴「四季の彩り」開催
2012 年 金沢しいのき迎賓館「NIPPON を祝う」テーブルコーディネートに参加
2013 年 ザ・リッツカールトン東京 日本料理ひのきざかにて「アートオブクタニ」開催
東京上野旧岩崎邸庭園オータムイベント「彩の秋」にて展示
静岡世界お茶まつり 2013 にて現代の O-CHA 道具作品展に招待出品
2020 年 ザ・キャピトルホテル東急 山王スイートにて作陶 30 年記念展開催
ニッコー株式会社（NIKKO）とコラボレーション オリジナル内裏雛を発表
2023 年 新色 青彩細描にて作品を発表

■主な作品



希赤 光揮

34.8× 34.8× 29.8 cm 4,400,000 円（税込）

空間に太陽をもたらす作品。色の王者であり、人類最古の色彩ともいわれる赤。そして光の色であり、はじまりを感じさせる白。この両者が競うように立体を覆い、強いビジュアルイメージを形作る。紅白の色彩は日の丸にも通じる。



希赤 赤富士 香炉

10.6× 10.6× 11.7 cm 550,000円（税込）

作家は、理想である天に向かってそびえ立ち、明るい希望を象徴する存在として赤富士をとらえた。画面からあふれんばかりの堂々とした富士、悠然とたたずむ雲、色とりどりに光り輝くふもとの里山や畑、そして裾野の先（作品背面）には洋々たる大海が広がる。



Aurora 清輝

10.8× 12.7× 24cm 880,000 円（税込）

トロフィーを彷彿とさせるボディーに、色とりどりの輝きが散りばめられた作品。光り輝く一石一石がブラチナと分かちがたく結びつき、まばゆいほどの世界が生み出されている。



希赤 輝咲

14.5× 14.5× 12.2cm 880,000 円 (税込)

世界中に輝きが咲き乱れることを願って輝咲（きさき）と名付けられた。一見すると抽象的なパターンのようなだが、細部に目を凝らすとわかるように、実はバラの集合体となっている。

ながの東急百貨店URL

<https://www.nagano-tokyu.co.jp/>

【プレスリリースに関するお問合せ】

（株）ながの東急百貨店 総務・人事（広報担当）

TEL 026-226-8181（代表） 026-226-8185（直通）

hug everyone.

